

議会庁舎改築基本設計に係る各会派の意見及び対応

I 基本設計において対応するもの

【自民党・道民会議】

会 派 意 見	道 の 対 応
<p>1 現議会庁舎の資材の再活用</p> <p>○ 現議会庁舎の趣は北海道議会の歴史的象徴空間であり、未来にその歴史を継承、伝承するため、現議会庁舎の資材を再利用</p>	<p>○ 議会運営に及ぼす影響や資材の再利用の可否などを考慮し、再利用を検討します。</p>
<p>2 利用者の利便性の向上</p> <p>○ 食堂を本庁側に配置（本庁や赤れんがから食堂を利用しやすいよう配慮）</p> <p>○ 南側にエレベータを配置（障がいのある者などの移動に配慮）</p> <p>○ 5階中央階段とエレベータの配置の入れ替え、中央階段の幅の見直し（本会議での議員の移動をスムーズにし、議会運営の円滑化を図るため。非常時の避難路を確保するため。）</p> <p>○ 3・4・6階の廊下の幅の見直し（職員や報道関係者、荷物搬入等の業務に支障が生じないように配慮。）</p>	<p>○ 庁舎周辺から食堂への人の動線や議会庁舎正面入り口の位置と車の動線などを検証したうえで判断します。</p> <hr/> <p>○ 障がいのある者などの移動や議会運営の円滑化などに配慮し、エレベータの配置、階段の幅などを検討します。</p>
<p>3 赤れんが周辺地区の整備</p> <p>○ 本庁舎来庁者駐車場を地下駐車場に見直し（地上空間を歴史ある景観として配慮し、道民の憩いの場として活用）</p> <p>○ 車の動線の検討（正面入り口の車の入出の確保。車の入出に支障がある換気塔の移設。大型バス運行への配慮。）</p>	<p>○ 本庁舎来庁者駐車場等については、周辺環境の調和に配慮するとともに、費用の抑制を図り整備します。また、議会庁舎入り口は車の動線が確保されるように努めます。なお、具体的な整備内容については、今後の改築協議会で協議します。</p>

【民進党・道民連合】

会 派 意 見	道 の 対 応
<p>1 省エネ・新エネの導入</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ガスコージェネレーションなど新エネの導入検討 ○ 新庁舎、赤れんが、本庁舎、別館、道警庁舎など、この地域を新エネモデル地域としていく ○ 将来的な近隣商業施設とのエネルギー連携 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 道議会で策定した議会庁舎改築基本計画（以下基本計画）や道が策定した議会庁舎の整備に当たっての基本的な考え方（以下基本的な考え方）を踏まえ、エネルギーに係るコストや利用効率など費用対効果にも留意しつつ、省エネルギー技術や新エネルギーの導入について検討します。なお、具体的な整備内容については、次回の改築協議会で協議します。
<p>2 議会議論の活性化（議会改革協での議論を含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 一問一答方式の導入に伴う条件整備 ○ 傍聴者席等の充実（バリアフリーなど） ○ インターネットによる配信（本会議、委員会） <ul style="list-style-type: none"> ・ 来庁者共用スペースの設備設置 ○ 誰でも傍聴（来庁）しやすくするための複合施設の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ 例～「赤ちゃんのほっとステーション」などの設置と充実 	<p>【基本設計に関する事項に限る】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 基本計画を踏まえ、一問一答方式に対応できるよう、第二演壇を設置することは可能となっています。 ○ 基本計画を踏まえ、傾斜を緩やかにしたり、各座席の間隔を確保するなど誰もが利用しやすい環境づくりに配慮した傍聴席の整備に努めます。また、車椅子対応の傍聴席・議員席の設置や段差の解消等バリアフリー対策を図ります。 ○ 基本計画を踏まえ、本会議や委員会の中継を外部に配信する視聴覚設備や道民ホールへのモニタ設置などについて検討します。なお、具体的な整備内容については、今後の改築協議会で協議します。 ○ 赤ちゃんのほっとステーションは1階に設置します。また、道民ホールや6階傍聴者ロビーは、道民に開放可能な施設となるよう配置します。
<p>3 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 現在設置されている施設（設備）の見直し 	<p>（今後、議会側で検討）</p>

【公明党】

会 派 意 見	道 の 対 応
<p>1 道民が身近で親しみやすい道議会庁舎 道議会庁舎は、赤れんが庁舎に隣接した立地環境にあり、外国人をはじめ道内外の観光客も多い。 セキュリティーを保つ一方で、道民をはじめ観光客にも身近な議会を目指す視点で、以下、提言する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 多目的トイレの設置（おむつ替え、オストミー、脱臭機能など） ○ 女性目線で女性が使いやすい女性トイレの設置 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基本的な考え方を踏まえ、女性をはじめ誰でも使いやすくわかりやすい施設となるよう、多目的トイレの設置や必要な機器整備について検討します。
<p>2 道民目線でコストを抑えた道議会庁舎</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 現在、設置されてる施設の見直し ○ 当初計画予算を超えることがないようコスト管理をする。 	<p>(今後、議会側で検討)</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <ul style="list-style-type: none"> ○ 今後の設計段階で具体的な整備内容について検討を行い、創意工夫をしつつ費用の抑制を図ります。

【日本共産党】

会 派 意 見	道 の 対 応
1 道議会が取りまとめた基本計画では、建設費用の抑制から、地下駐車場設置は想定していない。今回の案は地下への設置となっているが、建設費用が当初計画額を超過することのないようコスト管理をしっかりと行うこと。	○ 今後の設計段階で具体的な整備内容について検討を行い、創意工夫をしつつ費用の抑制を図ります。
2 議会庁舎改築にあたり道民理解を得るための住民への説明会を開催するなど、道民理解を得るために努力すること。	○ 改築協議会に提出した関係資料については、その都度公表を行うとともに、改めて道民に対する意見募集を実施するなど、基本設計の節目において可能な限り道民への情報提供に努めます。
3 現議会庁舎の議場傍聴者席の座席は小さく、また、傍聴席の前後の間隔も非常に狭く、傾斜もきついことから通行しにくい状況である。新議会庁舎の議場傍聴席は、座席の大きさや座席間隔の間隔、傾斜を改善すること。また、委員会室についても、十分な傍聴席を確保すること。	○ 基本計画を踏まえ、傾斜を緩やかにしたり、各座席の間隔を確保するなど誰もが利用しやすい環境づくりに配慮した傍聴席の整備に努めます。また、各委員会室において傍聴スペースが確保されるよう努めます。
4 各階毎に男女別トイレが設置されているが、基本計画に記載しているユニバーサルデザインとして、LGBTの方々にも対応した誰でも使えるトイレを各階に設置すること。 また、ストーマ洗浄に対応した設備を整備すること。	○ 基本的な考え方を踏まえ、誰でも使いやすくわかりやすい施設となるよう、多目的トイレの各階への設置や必要な機器整備について検討します。

Ⅱ 今後、別に対応する必要があるもの

【民進党・道民連合】

会 派 意 見	今 後 の 対 応
1 道民に開かれた議会 ○ 道民ホールなど開放施設（大・中・小～多目的）の設置 ・「かでの2・7」が有する道民が利用できる施設機能との調整 ・運営方法の検討（道民参加型） ○ 議会図書館の充実と開放（道立図書館との機能連携）	（今後、議会側で別途検討）
2 議会議論の活性化（議会改革協での議論を含む） ○ 一問一答方式の導入に伴う条件整備 ・効率化～部長答弁の自席での答弁	

【公明党】

会 派 意 見	今 後 の 対 応
1 道民が身近で親しみやすい道議会庁舎 <input type="radio"/> 1階スペースのカフェコーナーや歓談スペース、展示スペースなどの設置 <input type="radio"/> 一般利用者に対して Wi-Fi 環境整備	(今後、議会側で別途検討)
2 道民への情報発信拠点となる道議会庁舎 <input type="radio"/> ロビーにて議会や委員会質疑の映像を映すスクリーン設置	
3 道民のためになる情報を集約できる道議会庁舎 <input type="radio"/> 道民も利用しやすい図書室の充実	
4 道民目線でコストを抑えた道議会庁舎 <input type="radio"/> コストダウンの観点からペーパーレス化の推進	

【日本共産党】

会 派 意 見	今 後 の 対 応
1 社会的マナーとして議会庁舎を全面禁煙とすること	(今後、議会側で別途検討)